



## 第19回常任理事会

**日時** 平成30年12月11日(火) 18:30～19:39  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・青木各常任理事、藤瀬・篠島両監事  
 (事務局：安達局長ほか12名)

### 協議事項

#### 第1号 平成30年度会費減免の追加申請に関する件 (三戸常任理事)

道医会費減免申請者は出産育児免除者1名、研修医免除者14名の計15名で免除額248,000円を承認し、次回理事会に諮ることと決定。また、日医会費減免申請者として、研修医免除者13名の免除額26,000円を日医へ申請することと決定。

#### 第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座8件を承認することと決定。

#### 第3号 第5回理事会 [12月15日(土)] の議案に関する件 (三戸常任理事)

12月15日(土)午後4時から札幌パークホテルで開催する理事会の提出議案を決定。

#### 第4号 その他

- (1) 平成31年1月行事予定に関する件 (事務局)
- (2) 平成31年度予算関係三役・担当部長会議の日程に関する件 (事務局)

### 報告事項

#### 1. 認知症サポート医等フォローアップ事業 [平成30年度] について (水谷常任理事)

北海道地域医療介護総合確保基金事業(介護分)を活用し、全道の認知症サポート医の資質向上等を目的とした認知症サポート医フォローアップ研修と、地域の認知症に係る医療・介護・福祉の関係多職種連携を目的とした認知症多職種連携検討会を開催した。今年度は、認知症サポート医フォローアップ研修を札幌で開催し、80名が受講した。また、認知

症多職種連携検討会は小樽市と伊達市でそれぞれ開催し、2会場合わせて176名が受講した。なお、今年度最後の認知症多職種連携検討会を来年3月19日(火)に新ひだか町で開催予定。

#### 2. 医療安全全国フォーラム2018 [11月23日(金)・名古屋市] について (青木常任理事)

大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部・中島教授から「医療安全の新展開：レジリエンス・エンジニアリング」と題する基調講演が行われた。その後、シンポジウム「患者の視点に立って医療安全を考える」が行われ、上尾中央総合病院・長谷川情報管理特任副院長、患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋・高山理事と豊田理事長の3名のシンポジストからそれぞれ講演があった後、ディスカッションが行われた。参加者は約240名であった。

#### 3. 自賠償保険研修会 [11月24日(土)] について (橋本常任理事)

日本損害保険協会の自賠償保険運用益拠出事業の一環として、当会と日本損害保険協会北海道支部、損害保険料率算出機構札幌自賠償損害調査事務所の三者共催で開催した。学術講習と自賠償講習の二部構成で行い、学術講習は北海道大学病院・寶金病院長、自賠償講習は損害保険料率算出機構札幌自賠償損害調査事務所・渋谷所長より講演が行われた。参加者は43名で、そのうち医師は15名であった。

#### 4. 第13回医療の質・安全学会学術集会 [11月24日(土)～25日(日)・名古屋市] について (青木常任理事)

名古屋大学大学院医学系研究科医療の質・患者安全学の長尾教授が大会長となり名古屋市において開催された。「クリニカル・ガバナンスの確立を目指して－質・安全学を基軸とする医療への推移－」をメインテーマに、特別講演、海外招聘講演、大会長講演、さらに44のシンポジウム等が行われ、一般演題482題(口演244題、ポスター238題)が発表された。参加者は約2,860名であった。次回は来年11月29日(金)～30日(土)、大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部・中島教授が大会長となり、京都府において開催。

#### 5. 北海道がんサミット2018要望書の手交 [11月26日(月)] について (長瀬会長)

7月22日(日)「オール北海道でがん対策をすすめよう」をテーマに開催した北海道がんサミット2018の検討内容を要望書に取りまとめ、昨年度に引き続き、北海道がん対策「六位一体」協議会の名のもとに、高橋はるみ知事、秋元克広札幌市長、大谷亨道議会議長他に手交した。

#### 6. 南海大震災を想定した衛星利用実証実験(防災訓練) [11月29日(木)・TV会議] について (目黒常任理事)

四国沖を震源地として南海大震災を想定した衛星利用実証実験を、日医と和歌山県・高知県・幡多の

各医師会と超高速インターネット衛星きずなやワイドスターⅡ等により接続し、防災訓練が実施された。シナリオに沿って各県が災害対策本部の設置状況や発災直後から3ヵ月後までの被災状況等について日医に報告し、併せて昨年度から日医が運用を開始している災害時情報共有システムを使用し、全都道府県医師会で訓練内容について情報共有を行った。また、本訓練内において胆振東部地震への対応について発言を求められ、小職から当会の対応等について報告した。参加者はテレビ会議利用者を含め、都道府県医師会から約106名、総務省・厚労省・職能団体等から約27名であった。

#### 7. 自由民主党北海道支部連合会「団体政策懇談会」 [11月29日(木)・道議会自民党会議室] について (笹本常任理事)

長瀬会長他4名の役員が出席し、国民皆保険の堅持、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築の推進、救急医療体制の充実・確保等の各医療政策について、自由民主党北海道支部連合会に対して要望し、意見交換を行った。

#### 8. 勤務医部会全体会議 [12月2日(日)] について (藤井常任理事)

日医の勤務医関連会議ならびに医師の勤務環境、勤務医懇談会について報告の後、今年度は札幌医科大学附属病院・土橋病院長をお迎えし「特定機能病院で多重化する監査制度：医療安全のために」をテーマに講演いただいた。多数の医師が働く大学病院での労働時間管理や安心・安全な医療の提供のための必要な知識について説明があった。その後、活発な意見交換が行われた後、提言を採択した。

#### 9. 救急医療対策部会小委員会 [12月2日(日)] について (目黒常任理事)

委員の変更に伴い、今年度から委員として就任した大原委員(函館市医師会)、松居委員(北海道大学医師会)を紹介し、小職より当会主催で実施した小児救急医療地域研修会等について報告した。また、今年度実施を予定している北海道胆振東部地震医療救護活動報告会等、救急関係の事業について説明を行った後、奈良副部長から日医主催のJMAT研修・統括JMAT編の概要について、浅井委員からはメディカルウイングについて報告した。その後、救急医療対策部会全体会議の内容と北海道胆振東部地震での対応および課題について協議した。

#### 10. 道央圏交通体系フォーラムBEYOND2030 [12月6日(木)] について (長瀬会長)

札幌・北海道の活性化に資する総合的な交通・まちづくりの在り方を考えるとともに、観光、医療、物流等さまざまな観点から札幌都心アクセス道路が果たすべき役割について議論することを目的に、札幌商工会議所の主催で開催された。北海道大学公共政策大学院・高野院長による基調講演があった後、小職の他3名による「都心アクセス道路に求められ

る役割」をテーマとしたパネルディスカッションが行われた。小職からは、都心アクセス道路を利用した場合の救急搬送のメリット・デメリットに加え、より効率的な搬送体制の構築について発言した他、メディカルウイング事業や医師派遣に利用される丘珠空港のアクセス向上の必要性を説明した。参加者は約300名であった。

#### 11. 第6回日本糖尿病対策推進会議総会 [12月6日(木)・日医] について (後藤常任理事)

糖尿病対策を推進し、国民の健康増進と福祉向上を図ることを目的に日医、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会等で構成する総会が開催された。糖尿病診療データベースの構築や糖尿病性腎症重症化予防に対する国の取り組み、地域・団体での取り組みについて報告があった。参加者数はテレビ会議を含め256名であった。

#### 12. 第18回医療フォーラム [12月6日(木)・東京] について (笹本常任理事)

「どうする、日本の医療『骨太の方針2018』～2040年を見据えた社会保障の将来見通しについて」をテーマに、厚生労働省・樽見保険局長の代理で同省・山本大臣官房審議官(医療介護連携担当)より「2040年を展望した社会保障の課題」、中外製薬株式会社・永山代表取締役会長より「『新産業論』～医薬品産業がこれからもリーディング産業であり続けるために～」、日医・横倉会長より「日本医師会の医療政策」、慶應義塾大学総合政策学部教授／経済財政諮問会議一体改革推進委員会 社会保障WG委員・印南氏より「医療保険財政の持続可能性を確保するために」、自由民主党衆議院議員／元厚生労働大臣・塩崎氏より「保健医療の再構築～新たな『社会システム』へ～」についてそれぞれ講演が行われた。参加者は約300名であった。

#### 13. 日医生涯教育協力講座セミナー「超高齢社会における高齢者のトータルケア」 [12月8日(土)] について (生駒常任理事)

日医、当会、第一三共株式会社の共催で開催した。「地域での食支援～食支援の実践と地域食支援体制づくり～」と題して、医療法人溪仁会札幌溪仁会リハビリテーション病院・橋本副院長から講演があった後「高齢者の健康と生活習慣、生活環境」と題して、北海道大学大学院医学研究院・医学院社会医学分野公衆衛生学教室・玉腰教授から講演があった。その後「認知症予防・治療の最新の動向」と題して、札幌医科大学医学部神経内科学講座・下濱教授から講演があった。各講演終了後にフロアとの活発な意見交換が行われた。参加者は137名であった。

#### 14. 公明党北海道本部 政策懇談会 [12月8日(土)・ホテルポールスター札幌] について (笹本常任理事)

長瀬会長他5名の役員が出席し、国民皆保険の堅持、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築

の推進、救急医療体制の充実・確保等の各医療政策について、公明党北海道本部に対して要望し、意見交換を行った。

#### 15. 北海道地域医療構想調整会議協議会 [12月9日(日)] について (笹本常任理事)

都道府県単位の地域医療構想調整会議として、北海道との共催で初めて開催した。全道から各地域医療構想調整会議議長や、多数の関係郡市医師会役員、保健所長等に参集いただき、各圏域の抱える問題等について報告を行い、情報を共有した。参加者は約90名であった。

#### 16. 外部各委員会報告

##### (1) 北海道医療対策協議会 第4回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会 [12月3日(月)] について (小熊副会長)

200床以上の病院に勤務する際の診療支援の考え方、新たに医療法に規定されたキャリア形成プログラムの運用指針への対応、来年度に策定予定の医師確保計画スケジュール、専門研修プログラムに関する確認事項について協議を行った。なお、キャリア形成プログラムのコース設定、海外留学・大学院進学によるプログラム中断の取り扱い、カリキュラム制の導入等について、今後の検討課題となった。

#### 17. 中央情勢報告 (笹本常任理事)

##### 財政制度等審議会「平成31年度予算の編成等に関する建議」について

財務省の財政制度等審議会・財政制度分科会がまとめた平成31年度予算編成に向けた秋の建議につき、社会保障関係費の伸びは高齢化による増加分に相当する水準におさめるという方針が強調された点などを含むポイント解説を小職より行った。

#### 18. その他

##### (1) 都道府県医師会会長協議会 [1月15日(火)] の提出議題について (三戸常任理事)

都道府県医師会会長協議会への議題提出および期限について確認した。

##### (2) 会員数について (三戸常任理事)

平成30年12月1日現在の当会会員数は8,365名で、内訳はA会員2,446名、B1会員619名、B2会員4,667名、C1会員99名、C2会員131名、C3会員403名となった。なお、日医会員数は5,863名となっている。

#### 道総医協関連事項 (深澤副会長)

##### 1. 地域医療専門委員会第1回看護対策小委員会 [11月27日(火)] について (藤井常任理事)

今年度の北海道看護職員確保対策ならびに第8次看護職員需給見通しについて、前年度に引き続き臨時委員6名が加わり、合計11名の委員で検討し協議を進めていくこととなった。北海道の需給見通し推計は、今後、国から示される方法により推計し、年

度末には国への需給推計を提出、来年6月に報告書を取りまとめる予定である。

##### 2. 第4回地域保健専門委員会 [12月5日(水)] について (藤原副会長)

本道のがん診療連携拠点病院等の申請状況および指定要件の充足状況について報告等が行われた後、北海道からの推薦候補病院について協議を行い、22病院を決定した。

## 第5回理事会

日時 平成30年12月15日(土) 16:00～17:37  
場所 札幌パークホテル 地下2階「パークプラザ」

出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・青木各常任理事、松家・野呂・恩村・阿久津・沖・文屋・山下・今野・稲葉・久島・千葉各理事、津田・藤瀬・篠島各監事、本間議長、城裁定委員・鈴木・上埜両委員

(事務局：安達事務局長ほか17名)

#### 1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 報告事項

##### (1) 日医理事会報告 (長瀬会長)

10月の理事会では、日本医師会・日本医学会合同公開フォーラム「HPVワクチンについて考える」の件、社会保障審議会医療保険部会の件、第2回医道審議会医師分科会医師専門研修部会の件等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合会において、医療事故調査委員会の問題点と医療メデイエーションの問題点について、医師会の准看護師養成について等の意見交換を行った。また11月の理事会では、中医協(薬価専門部会、保険医療材料専門部会、調査実施小委員会等)の件、医師の働き方改革に関する検討会の件、社会保障審議会医療保険部会の件、日本専門医機構理事会の件等の報告の後、都道府県医師会会長協議会開催の件等を協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合会において、議事運営委員会決定事項一部改正について、グーグルマップへの医療機関無断掲載について、来年4月27日(土)からの10連休の医療提供体制の確保について等の意見交換を行った。

##### (2) 日医各委員会報告

###### 1) 日医各委員会の諮問事項等について

(三戸常任理事)

日医各委員会の担当委員および会長諮問等の一覧について報告した。

**2) 産業保健委員会 [10月3日(水)、12月14日(金)] について (生駒常任理事)**

第1回は、委員長に北里大学・相澤名誉教授、副委員長に産業医科大学・堀江教授と岡山県医師会・松山会長が指名され、会長諮問「産業医の組織化に向けた具体的方策についてー産業医のスキルアップと活動支援ー」について、産業医を守る観点から検討していくこととなった。第2回は、産業医モデル契約書について参考となるものと産業医の組織化について、今後の検討事項とすることになった。

**3) 勤務医委員会 [10月10日(水)] について**

(藤井常任理事)

委員長に富山県医師会・泉副会長、副委員長に宮城県医師会・橋本副会長が指名され、会長諮問「勤務医の医師会入会への動機を喚起するための方策についてー特に、若手勤務医を対象にー」について協議することとなった。勤務医の勤務先変更に伴う医師会異動手続きの煩雑を解消するため、医師資格証の利用などを含めて2年間で検討していくこととなった。

**4) 医師会共同利用施設検討委員会 [10月10日(水)、12月7日(金)] について**

(伊藤常任理事)

委員長に佐賀県医師会・池田会長、副委員長に埼玉県医師会・利根川副会長が指名され、会長諮問「医師会共同利用施設の意義とこれからの方向性」について協議を行った。また、第2回は、原委員(福島県医師会常任理事)から「地域包括ケアシステムと医師会病院ー在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院、開放型病床ー」、豊田委員(広島県医師会副会長)から「呉市医師会病院(200床以上)における問題点及び要望」と題した講演がそれぞれ行われた後、会長諮問について協議を行った。

**5) 外国人医療対策委員会 [10月17日(水)、12月6日(木)] について (伊藤常任理事)**

委員長に東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室・渋谷教授、副委員長に広島県医師会・豊田副会長と福岡県医師会・堤副会長がそれぞれ指名され、会長諮問「地域医療における外国人医療提供体制のあり方」について協議を行った。また、第2回は、厚生労働省医政局総務課・北波課長、総務省自治行政局住民制度課外国人住民基本台帳室・寺田室長、国土交通省観光庁受入担当参事官付・山崎専門官より各省庁の取り組みについて説明が行われた後、中間とりまとめ骨子案について協議を行った。

**6) 母子保健検討委員会 [10月18日(木)、12月5日(水)] について (三戸常任理事)**

第1回は、委員長に国立成育医療研究センター・五十嵐理事長、副委員長に熊本県医師会・福田会長が指名された。本委員会では、会長諮問「次世代を見据えた母子保健の充実強化に向けて(妊産婦健診の在り方、乳幼児健診の標準化等)」について、2年間検討を行うこととなる。また、今年度母子保健講習会の日程とテーマについて検討した。第2回は、乳幼児健康診査身体診察マニュアルについて解説があった後、来年2月17日(日)に開催する母子保健講習会について協議し、プログラムを決定した。

**7) 広報委員会 [10月18日(木)・12月13日(木)] について (山科常任理事)**

日医ホームページリニューアルや第1回生命を見つめるフォト&エッセー・フォト部門の結果報告があった後、広報活動に対するアンケート調査の実施について協議した。

**8) 有床診療所委員会 [10月31日(水)] について (岡部常任理事)**

委員長に徳島県医師会・齋藤会長、副委員長に日本産婦人科医会・前田副会長が指名され、会長諮問「中長期的に見た、地域における有床診療所のあり方」について協議した。

**9) 医療情報システム協議会運営委員会 [10月31日(水)] について (藤原副会長)**

来年3月2日(土)・3日(日)に開催する日医医療情報システム協議会のプログラム(案)、座長、メインテーマ、事例報告募集要項(案)、参加者アンケート(案)等について協議し、メインテーマは「明日の医療を彩るICT」に決定した。会場は日医会館から文京シビック大ホールに変更された。

**10) 生命を見つめるフォト&エッセー 第2次審査会 [11月3日(土)] について**

(山科常任理事)

フォト部門とエッセー部門の審査は、それぞれ別日程で行われた。エッセー部門では、応募総数合計1,432編の応募の中から第1次審査で131編に絞り込まれ、第2次審査会で約38編にまで絞り込まれた。受賞作の発表および表彰式は、後日行われる予定となっている。

**11) 地域医療対策委員会 [11月21日(水)] について (笹本常任理事)**

委員長に山形県医師会・中目会長、副委員長に京都府医師会・松井会長が指名された。日医・横倉会長からは「今後の地域における医療提供体制に向けた医師会の役割～地域医療構想、医師確保対策等を中心に～」が諮問された。その後、今後の審議の進め方について

て説明があった。答申は、2020年1～2月頃を予定。

#### 12) 医療関係者検討委員会 [11月30日(金)] について (北野常任理事)

委員長に大分県医師会・近藤会長、副委員長に鳥取県医師会・清水副会長が指名され、会長諮問「1. 准看護師の活用推進と今後の対策 2. 医療・介護人材の国際化の流れについて」を、来年12月の答申まで協議することとなった。なお、平成30年医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査結果について、准看護師課程の定員は、学校数の減少に伴い応募者の減少が続いており、入学者も大きく減少し、今年度は約7,000人を割り、定員を大きく下回ったとの報告があった。また、第8次地方分権一括法により、都道府県が実施している准看護師試験事務の外部委託が可能となったことを受けて、日医と四病院団体協議会で受託に向けて準備を進めているとの説明があった。

#### 13) 地域包括ケア推進委員会 [12月5日(水)] について (水谷常任理事)

委員長に大阪府医師会・中尾副会長、副委員長に福井県医師会・池端副会長と茨城県医師会・鈴木理事がそれぞれ指名された。日医・横倉会長からは「尊厳の保障と自立支援に資する地域包括ケアシステムの深化・推進へ向けて」が諮問された。その後、今後の審議の進め方について説明があったほか、介護政策の最新動向と医師会・かかりつけ医の役割について協議・意見交換を行った。答申は、2020年1月～2月頃を予定。

#### 14) 医師の働き方検討委員会 [12月12日(水)] について (藤井常任理事)

厚生労働省の「医師の働き方改革に関する検討会」における、医師の労働時間短縮に向けた議論の内容について報告があった。睡眠時間確保の重要性を踏まえ、連続勤務時間制限・勤務間インターバルの確保や健診、産業医の活用が重要であり、今後は、上限規制が適用される2024年までに見直しをしながら検討していく。また、第三者機関の支援組織についても検討した。

#### (3) その他

##### 1) 日本医師会代議員会議事運営委員会決定事項の一部改正について (深澤副会長)

全国の日医代議員に実施されたアンケート結果に基づき、閉会日途時間が30分短縮され午後3時30分を目途とすること、個人質問が廃止されすべて代表質問(2名以内)となったこと等の一部改正が行われた。

#### 4. 承認事項

##### (1) 北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦について (橋本常任理事)

現委員の任期が今年12月末日で満了となる保険医を代表する委員について、関係郡市医師会、専門医会から推薦のあった保険医代表40名(委嘱時70歳未満)を北海道知事に推薦することを承認。

##### (2) 外部各委員会等委員の推薦について

(三戸常任理事)

第4回理事会(10月6日)以降に推薦依頼のあった、北海道保健福祉部所管の地域医療構想アドバイザーに笹本常任理事、北海道総合政策部所管の北海道鉄道活性化協議会に長瀬会長、北海道大学所管の国立大学法人北海道大学病院管理運営協議会に長瀬会長をそれぞれ推薦したことを承認決定。

#### 5. 協議事項

##### 第1号 平成30年度会費減免の追加申請に関する件 (三戸常任理事)

道医会費減免申請者は出産育児免除者1名、研修医免除者14名の計15名で免除額248,000円を承認。また、日医会費減免申請者として、研修医免除者13名の免除額26,000円を日医へ申請することと決定。

##### 第2号 平成31年新年交礼会 [1月7日(月)] の開催に関する件 (三戸常任理事)

来年1月7日(月)午後6時30分から札幌グランドホテルで開催することと決定。

##### 第3号 北海道医師会職員給与規程等の一部改正に関する件 (三戸常任理事)

国の人事院勧告に基づき、北海道人事委員会が勧告した道職員の平成30年給与表ならびに期末・勤勉手当の改定に準じて、当会職員についても同様に今年4月1日から適用することと決定。

#### 6. 道総医協関連事項 (深澤副会長)

第4回理事会(10/6)報告以降に開催された会議について報告した。

#### 7. 閉会

## 第20回常任理事会

日時 平成30年12月25日(火) 18:30～19:29  
場所 北海道医師会館9階・理事会室  
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・櫻井・青木各常任理事、藤瀬・篠島両監事 (事務局:安達局長ほか12名)

#### 協議事項

##### 第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (三戸常任理事)

12月19日の審査委員会(持回り審査)で指定可とされた再審2名の申請者を指定医師とすることと決定。

#### 第2号 北海道医療審議会委員の推薦依頼に関する件(三戸常任理事)

長瀬会長ほか7名の前任委員を引き続き推薦することと決定。

#### 第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件(生駒常任理事)

認定要件を満たした新規申請者11名と更新申請者44名を承認し、日医へ申請することと決定。

#### 第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件(後藤常任理事)

認定要件を満たした更新申請者4名を承認し、日医へ申請することと決定。

#### 第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座17件を承認することと決定。

#### 第6号 その他

##### (1) 1月行事予定表に関する件(事務局)

#### 報告事項

##### 1. 地域医療を担う青少年育成事業【平成30年度】について(櫻井常任理事)

今年は北竜町(9/27)、室蘭市(10/24)、江差町(11/28)の3地区で開催した。地元の中学生を対象とした講演、実技医療体験学習、地域住民を対象とした住民講演会のほか、地方出身者の初期臨床研修医・地域枠医師になるまでの道のりのスピーチ、医療機器の実演指導などに参加してもらい学生との交流を図った。来年度も若者の医療関係職種への動機づけと、行政や住民の地域医療の意識向上に繋げていくために、事業を継続していく予定。

##### 2. 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会【12月13日(木)・東京都】について

(青木常任理事)

日医医賠責保険制度の運営に関する経過報告の後、甲南大学法科大学院・前田教授(元東京高等裁判所部総括判事)ならびに畔柳弁護士(日本医師会参与)の講演が行われた。その後、都道府県医師会からの質問・要望に回答したほか、医療事故調査制度関連について説明を行った。参加者は、テレビ会議を含め120名であった。

##### 3. 医療政策に関わる意見交換会(帯広市医師会・十勝医師会)【12月21日(金)・帯広市】について

(笹本常任理事)

医療政策全般に関わる意見交換会を、帯広市医師会ならびに十勝医師会の役員と開催した。両医師会における最近の取り組み等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。その後、医療政策に関する喫緊の課題を含め、当会が進めている事業について説明した。

#### 4. 日医理事会報告(長瀬会長)

厚生労働科学研究「医療を取り巻く状況の変化等を踏まえた医師法の応召義務の解釈についての研究」第5回研究会議の件、第5回上手な医療のわかり方を広めるための懇談会の件等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

#### 5. 外部各委員会報告

##### (1) 札幌市営企業調査審議会・市立札幌病院の役割と経営健全化に関する専門家検討会【10月10日(水)】について(笹本常任理事)

第5回をもって終了した市立札幌病院の役割と経営健全化に関する専門家検討会の報告書がまとめられた。10月30日には親会である札幌市営企業調査審議会第2回病院部会が開催され、本報告書について協議が行われた。

##### (2) 電子レセプト情報等データベースシステム運営調整会議【12月14日(金)】について

(笹本常任理事)

電子レセプト情報等データベースシステム整備事業ならびに今後のデータベース活用等について説明があった。各地域の受療動向等を示すデータを提示し地域医療構想調整会議の活性化に加え、医療計画の中間見直し、次期計画の策定時等にも活用する予定である。

##### (3) 第2回外国人への医療提供に関する全道意見交換会【12月19日(水)】について

(伊藤常任理事)

厚生労働省や国土交通省の国レベルの取り組みのほか、北海道、小樽商科大学、北海道大学病院の取り組み等について説明があり、今後の方向性と取り組み促進に向けた課題・要望等について意見交換を行った。次回(第3回)はさまざまな情報を集約した上で、来年3月に開催予定。

##### (4) 第2回北海道学校保健審議会【12月20日(木)】について(長瀬会長)

内科健診時の児童生徒への配慮の問題について、学校側が配慮することをまとめ、具体的な例を提示して適切に実施できるように、参考となる資料を作成するための意見交換を行った。また、来年度の学校保健・給食に係る主な事業概要や公立学校児童等の健康状態に関する調査結果等について報告があった。

##### (5) 北海道鉄道活性化協議会第1回全体会議【12月22日(土)】について(長瀬会長)

高橋知事の肝入りで今月立ち上げられた北海道鉄道活性化協議会の第1回全体会議につき、初年度(平成30年12月～平成31年3月)の予算規模が4千万円であること、道民一人あたり年間4千円の利用増でJR北海道の単年度赤字が解消できること等について説明があった。全体会議の終了後には、高橋知事、JR北海道・島田

社長等が出席し公共交通の利用促進に向けた道民総決起フォーラムが開催され、活発な議論が行われた。道民総決起フォーラムの参加者は約600名であった。

#### 道総医協関連事項（深澤副会長）

1. 第4回地域医療専門委員会 [12月17日(月)] について（小熊副会長）

地域医療構想の取り組み状況ならびに地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入、地域医療構想を踏まえた医療機関の開設等の許可申請の対応について説明があった。定量的な基準の導入については、共通理解が得られたものの、他県の事例等を参考にしつつさまざまな基準について引き続き検討することとなった。

## お知らせ

### 第53回北海道ドクターズゴルフ大会 開催のお知らせ（予告）

標記大会を、小樽市医師会の担当で下記のとおり開催することになりましたので、多くの会員にご参加いただきたくご案内申し上げます。

#### 記

#### 【前夜祭】

日 時：2019年6月29日（土）  
午後6時30分～8時  
会 場：グランドパーク小樽  
小樽市築港11-3  
TEL (0134)21-3111

参加申込：北海道医報3月1日号または4月1日号附録の「参加申込書」にてお申込下さい。

宿 泊：宿泊につきましては申込受付後、当会で依頼した旅行会社からパンフレット等をお送りしますので、ご希望の方は、各自お申込下さい。

そ の 他：ご不明な点がありましたら、大会事務局までご連絡願います。

#### 【大 会】

日 時：2019年6月30日（日）  
午前6時30分スタート（予定）  
会 場：小樽カントリー倶楽部 新コース  
小樽市銭函3丁目73番地  
TEL (0134)62-5051

競技方法：18ホールズストロークプレー  
（アンダーハンディ）  
A・B・Cの各クラス  
を予定しております。  
レギュラーツィ

参加資格：北海道医師会員

問合せ先：〒047-0033  
小樽市富岡1丁目5番15号  
小樽市医師会内  
第53回北海道ドクターズゴルフ  
大会事務局  
（担当：野村、本間）  
TEL (0134)22-4111  
FAX (0134)33-9544  
E-mail otaru@office.hokkaido.med.or.jp